

後援 国土交通省、経済産業省、観光庁、鹿児島県他46都道府県、鹿児島市 など

第11回国内観光活性化フォーラム・第2回地旅博覧会inかごしま

桜島をはじめ鹿児島には観光の見どころがいっぱい。フォーラム・地旅博覧会のエキスカッションでも訪れる鹿児島県の代表的な観光スポットを紹介する。

鹿児島島の 観光スポット

写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟



鹿児島島のシンボルと言えば桜島。噴火の歴史や観光情報が分かる「桜島ビジターセンター」もある



彫刻家・安藤照によって作成され、1937年（昭和12年）、鹿児島市に建てられた銅像



第二次世界大戦末期に行われた陸軍特別攻撃隊員による特攻に関する資料を展示している



本土最南端の地。岬の沖にある大輪島には日本最古の灯台がある



1658年（万治元年）に薩摩藩主・島津光久によって築かれた別邸。敷地面積は5万平方㍍



指宿名物砂むし温泉。砂の中に体を埋めて海岸に湧出する温泉に入る



鰐島を代表する景勝地。幅50㍍、長さ約4㍍に及ぶ砂浜

株式会社全旅は、2回目となる「地旅博覧会」を鹿児島で開催する。中間幹夫社長にとっては地元でもあり、イベントの成功に向けて自ずと力が入る。着地型旅行「地旅」と地旅博覧会について詳しく聞いた。



旅行に力を入れてきている。
「人気スポットについては手
掛けるだろうが、農業や漁業な

「われわれ中小旅行会社は地域に密着して商売をしている。そのお世話になっている地元への恩返しができるかというに着地型旅行しかない。体験などの観光資源を作り、それを消費者に案内して地域をPRする。地域が少しでも元気になるってほしいと願って、ここ15年間、着地型旅行の取り組みを進めてきた」

どの体験型商品を作ったり、今までの表に出ていない伝統芸能を披露したりするような商売は手間がかかるためやらない。地域に密着しているわれわれだからを携えてやっていくのだ」

—— 地旅博覧会とはどんなプログラムを予定している。

「地旅」と

——大手の旅行会社も着地型

「地旅」と「地旅博覧会」

株式会社 全旅 中間幹夫社長に聞く

地域密着の中小旅行会社 着地型旅行で地域に恩返し

というのも楽しみ方の一つだ。日本の旅の魅力として伝統芸能も忘れずにアピールする」

——中国や韓国の伝統芸能も披露する。

ていたが、最終的には約70社と倍近くに増えた。インバウンドへの会員の関心の強さが分かる。韓国行って20社を営業して回るのはお金も日数もかか

る。台湾もそう。鹿児島に
来れば、韓国・台湾の40社を回
れるわけだから、いい営業にな
るのでは、ないか？」

「これは、鹿児島での着地型
旅行、また日本での着地型旅行

保や広報支援、異業種間の連携なども充実していきたい」

―― 会員としての課題は。

「着地型旅の企画と販売には時間もお金もかかるので本腰を入れて取り組む一歩、現実もある。だが、誰がやるのを様子見しているのではなく、自分から打って出る勇気が必要だ」

―― 鹿児島県旅行業協同組合では、2006年から「魅鹿型（みびく）のブランドで着地型旅行を手掛けてきた。他の県に比べていさぐち取り組んできたわけだが、着地型旅行をビジネスとして成功させる秘訣は何か。

「着地型ツアーに参加する多くの人は、自分たちが客として金で地域が元気になるってこればいいという非常、明確で地域貢献的な考え方を持っている。われわれ旅行会社は、お客さまのそうという一歩、それをツアーに反映させることが肝心だ。9年間積み上げてきたデータを元にミスマチが起きないよう―― 代表的なヒット商品を筆頭に披露したい」

に伴う風評被害対策事業で造成した、屋久島と奄美をテーマにしたツアーが短期間で完売する大震災、東日本大震災と大きな災害を経て急転換から、同じ旅行をするなら風評被害で困っている地域に行つてあげよう、元気づけようという考え方が日本人に普及してきているからだだ（そう）」

「われわれ旅行会社は「困ると思う」を結び付ける作業も担うべきだ」

―― 中間杜葎の地元、鹿児島での開催。ATAや全旅の会員に歓迎のメッセージを。

「鹿児島は、素材をどう生かすか、どう流通、乗せるか、ささぐんさん悩んで着地型旅行を前に進めてきた。他の地域より先に苦勞してきたので、ぜひ鹿児島に来て、われわれの取り組みを参考にしたいきたい。鹿児島は農業県なので、食は誇れる。食、特産品を含めて鹿児島の旅の素晴らしさを全国の皆さんに披露したい」

明治維新から150年の時を
観光維新を、
第2

※物販

KAGOSHIMA

明治維新から150年の時を経て
観光維新を、いず、鹿児島から—

第2回地旅博覧会 in かごしま

平成28年 3月18日 (金)

会場：鹿児島アリーナ

※物販ブース・飲食ブース多数出店！ご当地ゆるキャラ、武者行列など、様々なイベントを開催！（予定）

入場無料

主催：  株式会社 全旅

お問い合わせ先:03-5250-2555
zenryo@zenryo.co.jp

<https://jitab.ne.jp/kagoshima2015/index.html>

共催：  鹿児島県旅行業協同組合

後援：鹿兒島県、鹿兒島市、公益社団法人鹿兒島県観光連盟、一般社団法人 全国旅行業協会 他